

## 重点戦略課題⑤

# アジアを中心とした産業ネットワークの拡大

## 市民生活の姿

札幌の多数の企業が販路拡大などを目指し、グローバルな経済活動を展開しており、特にアジアとの産業のネットワークが急速に拡大し、観光客などの来客数も飛躍的に増加しています。

## 現状と課題

### 市内企業の国際化の現状

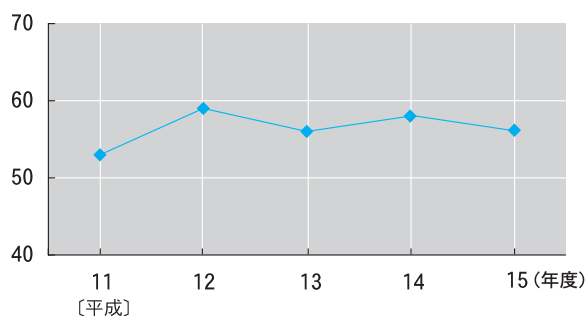
経済のグローバル化が急速に伸展している現在、市内企業のビジネスチャンス拡大を図るため海外市場も視野に入れた経済交流の促進が求められています。しかし、大企業に比べ、中小企業が国際ビジネスに取り組む場合は、資金力やノウハウの面でさまざまな課題が伴い、それが国際化を阻む一因となっています。札幌市は、これまで、本市が提唱した北方都市市長会議（平成18年第12回会議からは、会員の対象都市を北方地域以外の都市にも拡大するとともに、「世界冬の都市市長会議」に名称変更）を活用するなどして、国際的なビジネスチャンスの創出を図ってきましたが、札幌の海外進出企業数は近年横ばいであり、市内企業の国際化への取り組みが遅れている状況となっています。

### アジアとの経済交流

近年、中国を中心に成長が著しいアジア地域は、市内企業の海外進出意欲も強く、今後とも販路拡大・貿易振興の最も有望な市場として位置づけられています。

このような魅力あるアジアに着目し、意欲的な企業が国際競争力を高めながらアジアの国々への海外進出や海外取引などを実現できるよう、積極的な支援策の展開が必要となっています。

●札幌の海外進出企業数



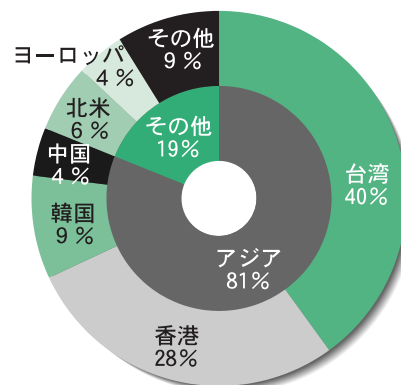
〈資料〉日本貿易振興機構北海道貿易情報センター  
「道内企業の海外進出動向実態調査」

## 海外からの観光客誘致

海外からの観光客誘致においては、東アジアをターゲットにトップセールス<sup>35</sup>やインセンティブツアーの誘致など、さまざまな誘致宣伝活動を行ってきており、来札外国人の8割を占めるアジアからの来客は、今後とも増加が見込まれます。

そこで、台湾、香港、韓国に加え、潜在的な旅行需要が高く、団体観光ビザが解禁され観光客の増加が見込まれる中国からの来客数を飛躍的に高めることが課題となっています。

●来札外国人の宿泊発地別内訳



注：平成14年度の内訳である。  
〈資料〉札幌市

## 各主体の主な役割

### 市民・NPO等

- 産業、地域、行政の情報化の推進
- 観光ボランティアなどの市民参加の推進
- 国際コンベンションへの市民意識の醸成
- おもてなしの実践 など

### 関係貿易団体

- 国際ビジネスへの業務サポート機能の充実
- 企業の国際化を担う人材育成の推進
- インセンティブツアーの積極的受け入れ、アフターコンベンションの企画や実施 など

### 企業等

- 異業種、産・学・官の協働による事業取り組みへの参加
- 技術研修生の受け入れ、専門家の派遣
- 旅行商品の開発、誘致宣伝活動の拡充 など

### 行政

- アジア経済圏との経済交流の促進
- 情報関連産業における産・学・官協働によるアジアとの経済交流の促進
- 海外での来札誘致宣伝活動の拡充 など



<sup>35</sup> トップセールス 自治体の首長などが、直接宣伝販売活動を行うこと。

## 施策と事業

### 施策の基本方針

成長著しいアジアなどとの経済交流を促進するため、国際都市としての札幌の魅力づくり・情報発信を強化し、市内企業のビジネスチャンスの拡大や技術の高度化を図るとともに、観光客などの誘致活動も積極的に進めていきます。

#### 重点戦略課題⑥

### アジアを中心とした 産業ネットワークの拡大

施策 1 経済交流の促進

施策 2 集客交流の促進

## 施策 1 経済交流の促進

経済のグローバル化に対応し、販路拡大先として潜在的な可能性を持つアジア地域での国際ビジネスを促進するための環境づくり（物産展や商談会の開催）や情報関連産業の集積が進むアジア諸都市を結んだ情報関連ビジネスのネットワーク形成といった国際ビジネス環境の充実などにより、技術、資本、人材などの新たなビジネス連携を促進していきます。

中でも生産拠点や巨大市場として経済成長が進む中国については、北京駐在員事務所機能を活用し、市内企業の対中国ビジネスを促進します。

事業名	事業内容	事業費	備考
アジア圏経済交流促進事業	販路拡大、貿易振興の最も有望な市場として期待されるアジア圏を中心として、意欲的な地元企業が国際競争力を高めながら海外ビジネスを展開できるよう、側面的な支援を行います。	40百万円	
国際化推進プラン推進事業【再掲】	外国人も暮らしやすい環境づくりを進めるため、外国人市民の生活に必要な情報提供を充実するとともに、外国人も参加する市民会議により国際化のまちづくりについて検討します。	12百万円	

## 施策 2 集客交流の促進

台湾、香港、韓国については、経済的波及効果が高いインセンティブツアーを中心とした誘致・PRを強化します。また、高い経済成長が見込まれる中国については、企業視察のニーズの高まりに対応し、旅行業界、札幌の情報関連産業や食品製造業などと連携し、テクニカルツアーの誘致活動を展開します。

これらのツアー参加者が、札幌での感動的な体験により、今度は観光客として再度来札し、また、他の人々に札幌の魅力を伝えるなど、新たな観光需要の掘り起こしにつながるような取り組みを進め、アジア地域からの一層の集客増を図っていきます。

事業名	事業内容	事業費	備考
<b>集客交流・シティPRキャンペーン（コンベンションプロジェクト）【再掲】</b>	市民、企業と協働して、市長による直接の誘致活動など、国内外から会議やイベントを積極的に誘致する事業を展開します。	50百万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>●インセンティブツアー誘致支援</li> <li>●テクニカルツアー支援</li> <li>●海外現地広告媒体買取広告掲載 など</li> </ul>
<b>国際観光誘致事業【再掲】</b>	中国、韓国をはじめとする東アジアを中心にオセアニアを加えた地域を対象として、イメージ発信、宣伝、旅行商品開発支援などを行います。	37百万円	
<b>東アジア都市間交流推進事業【再掲】</b>	東アジア地域との都市間交流を推進するため、中国、韓国から映像文化などの分野のキーパーソン（中心人物など）を招いて両国の文化を紹介するイベントを行うとともに、両国の都市で札幌の都市PRを行います。	10百万円	

## 成果指標

	現状値	目標値
アジア地域への輸出額（札幌税関所管分）	17億円 (H14)	35億円 (H18)
来札外国人宿泊者数（延べ宿泊者数）	232,072人 (H14)	400,000人 (H18)